



遮音・吸音材料および製品開発のための性能評価技術

遮音・吸音性能評価技術

技術分野分類	5302：建築環境・設備
技術キーワード	A：音・振動環境
産業分類	E-12：木材・木製品製造業（家具を除く）

内 容	概要	音源室（写真 1）と受音室（写真 2）の間に試料を取り付け、音源室側に音を発生させた時の両室の音圧レベルを測定し、音響透過損失（dB）を算出することにより遮音性能を評価する。図 1 は、残響室間の遮音性能である。また、音源室に試料を設置した時と設置しない時の残響時間を測定し、吸音率を算出することにより吸音性能を評価する。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	内装ドアなど、製品の遮音・吸音性能評価を行うことができる公設試がこの地方になかったため（導入当時）、この性能評価技術を確立したことにより、製品サイズにおける性能評価が可能となった。
	本技術の有用性	材料および製品の音響特性（遮音・吸音）を、簡易的に評価することが可能である。
関連情報 （図・表・写真等）	 <p>装置概略図</p> <p>音源室 受音室</p>	
適用可能製品	木製ドア、壁材、ボードなど	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	成瀬哲哉 岐阜県生活技術研究所 専門研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	岐阜県生活技術研究所 試験研究部 0577-33-5252 / 0577-33-0747 info@life.rd.pref.gifu.jp

■知的財産

■試作品状況

無 提示可 提供可

作成日 2021 年 11 月 18 日